

## 別記様式第 2 号

### 会議の概要報告

会議の名称	佐野市保育所整備運営計画策定委員会
1 開催日時	平成 22 年 8 月 12 日（木） 13 時 30 分～15 時 30 分
2 開催場所	佐野市役所 第 2 会議室
3 委員等の人数	10 人
4 出席委員等の人数	8 人
5 議題	1 佐野市保育所整備運営計画（案）について 2 今後のスケジュールについて
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	2 人
8 会議資料の名称	・佐野市保育所整備運営計画（案） ・平成 22 年度 保育所整備運営計画策定スケジュール
9 会議の概要 （発言の要旨）	別紙のとおり
10 その他	

平成 22 年 8 月 12 日  
午後 1 時 30 分から  
本庁舎 第 2 会議室

## 第 4 回佐野市保育所整備運営計画策定委員会 次第

### 会議次第

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 委員・事務局自己紹介
4. 議事事項
  - ( 1 ) 佐野市保育所整備運営計画(案)について
  - ( 2 ) 今後のスケジュールについて
5. その他
  - ( 1 ) 次回会議の日程について
6. 閉 会

## 第4回佐野市保育所整備運営計画策定委員会 議事要旨

日 時：平成 22 年 8 月 12 日（木） 午後 1 時 30 分～

場 所：本庁舎 第 2 会議室

### < 配布資料 >

- ・ 【資料】第 4 回佐野市保育所整備運営計画策定委員会 次第
- ・ 【資料】佐野市保育所整備運営計画（案）
- ・ 【資料】平成 22 年度 保育所整備運営計画策定スケジュール

### （ 1 ） 佐野市保育所整備運営計画（案）について

- ・ < 佐野市保育所整備運営計画（案）について >  
事務局より、資料に基づいて説明。

委員長：ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見ございましたらお願い致します。

委 員：定員の見直し、今後の保育需要の見通しについて、基本的な部分はどのように考えていますか。

事務局：以前策定委員会で示してはいますが、25 頁をご覧ください。こちらに通常保育の欄があり、現状「19 か所 1,857 人」目標「20 か所 1,950 人」とやや増加しています。少子化ということもありますが、今後共働き世帯の増加等が考えられますので、保育児童は増えていくと考えています。

委 員：この数で間に合うのでしょうか。本市には 0 歳・1 歳・2 歳で 3,000 人います。半分が保育所を利用した場合 1,500 人です。保育所の必要性は少子化といえども減ることはなく、増えていくと考えます。現在公立、民間で 19 か所です。仮に幼稚園が 1 か所 60 人定員で 5 園、認定こども園になると 300 人となります。そういった面で、私立幼稚園と連携をとり、認定こども園になって頂くと思っています。ただ、認定こども園になることはゆるくなりましたが、まだハードルが高いと思います。現状では、無認可こども園に対してはお金の流れがないです。当面无認

可こども園に対して、佐野市として補助を行うことは考えていますか。

事務局：19 か所が 20 か所と、伸びが少ないということだと思いますが、どのくらいが適当か、判断が難しいと思います。

委員：人口の動向や保育所の利用率等、この数はどう算出したのですか。まわりの方々から根拠等尋ねられることもあります。

事務局：前回の資料を確認しますのでお待ち下さい。

委員：詳しく言えば、7頁のその他未就園児の数です。仮に 21 年度では、幼稚園 1,901 名、保育所 1,712 名、その他未就園児 2,376 名となっています。未就園児の少なくともかなりの数が、入れる可能性があれば入りたいのだろうと思います。仮に認定こども園で 300 人、新たな社会福祉法人等の運営主体として考えていますか。考えているのであれば、どのような方針をお考えなのでしょう。今後の保育所整備の核になってくると思います。

また、財源の問題についてですが、一般財源から出されていて、多くの費用がかかっています。21 頁、公立保育所の運営費に 11 億円程度、民間保育所で 1 億 4 千万円程度かかっています。平成 21 年度の公立・民間それぞれの児童数で割ると、公立は 79 万 8 千円、民間は 38 万 5 千円、児童ひとり当たりかかっています。このような面も考えていく必要があると思います。お金があればよいが、非常に厳しいと思います。そこを踏まえて今後どのようにしていくお考えですか。

事務局：まず財源についてですが、いくら予算を出しますと書ければいいのですが、なかなかそこまで計画に書けないのが実情です。支援がないと運営が難しいのは理解をしています。人数については、12 月の策定委員会でこれで行っていきと決まりました。今後待機児童がどのように増えていくのかによっては、再度考える必要があると思います。

委員：これだけ少子化でも、保育園の数は年々増加していて、保育需要は増えています。また、待機児童について、民間に行けばカウントされない等、換算の方式に疑問があります。本市は待機児童がいないと聞いていますが、実際はいませんか。

事務局：待機児童はいませんが、保留児童の問題があります。

委員：日本中の傾向ではあります。基本的な考え方、このまちがどういうふうな保育運

営を行っていくのか、その辺りが見えづらいです。はっきりしておかないと分からないです。

平成 25 年には幼稚園・保育園の名称がなくなり、すべてこども園になるという話が出ているなかで、現在の制度での文言で作成されていますが、見えないです。

ゆえにこのまちとしては保育政策について、最終的にはすべて民間化していく、拠点となる所は公立で行っていく等、基本的なことはどう行っていくのでしょうか。

事務局：保育所整備計画の基本的な考え方は保留児童を減らすことです。まずは施設整備を行い、0 歳児 1 歳児の枠を増やすことを目指しています。まかないきれない部分は、皆様方をお願いしたいと考えています。民営化については、まず民営化ありきではなく、現状の施設を整備させていただいて、その後の話になると思います。

委員：つまり、今ある園舎は老朽化による耐震等が厳しいので、併せて新築での更新を進めていくということですか。

事務局：はい、そのなかで課題となっている低年齢児に取り組んでいきます。ただし、行っていくなかで皆様方をお願いをすることがあると思います。すべて引き受けるというのは難しいと考えています。

委員：併せて新築した施設は、当面は公立で運営していくが、状況によっては民営化をしていくことはお考えですか。

また、新たな N P O や株式会社が運営していくことはお考えですか。

事務局：佐野市としては、N P O や株式会社で民営化する時のことを視野に入れていないです。実績のある皆様方をお願いをさせて頂きたいとは考えています。

委員：気持ちは理解できますが、他の委員からお話があった通り、少子化対策として指定制を立法化する動きがあります。指定制が導入されれば、実際民間企業が参入してくると思います。実績のある社会法人・学校法人を考えてくれることはありがたいとは思いますが、ニーズがあれば指定せざるをえないと思います。一番合理的なのは認定こども園だとは思いますが、財政上の課題があります。何らかの文言が入っているとよいと思います。

事務局：気持ちを表す言葉として、29 頁の、「「認定こども園」として保育所整備を行う場合は、整備に向けて積極的に支援していきます。」としています。

委員：よくわかります。

事務局：この文言でご理解頂けたらと思います。

委員：現在、預かり保育は 200 人ですが、その親御さんに対して、月々1,000 円、年間 12,000 円の補助をしています。ありがたいことだと思います。現状の形とは別の形、新システムになった場合、具体的にいえば認可制でなくなったときに、現状の体制で間に合わなくなる可能性があると思います。

事務局：新システムというものを、今お話を頂いたこと程度にしか存じ上げません。

委員：どのようになるか、ならないかを基に計画は立てられないのは仕方ないと思います。

事務局：その時には国の動向を見ながら対応していくと思います。公立と民間、両方のいいところを活かしながら行っていきたいと考えており、どちらかに一方に偏ることは考えてはいません。利用者の意思によって選択して頂ければと思います。民間の強みとしては、現状の法律では公立では難しいバスを出すことが可能であり、公立の強みとしては、関係機関の連携等に長けていると考えます。

委員：それに関連して、人件費についてです。職員が 700 万、臨時の嘱託が 200 万と仕事内容がほぼ同じながら、市民感覚、観点からいうと問題ではと思います。考えていかななくてはならない、格差の問題だと思います。

事務局：市でも格差問題はあると思っています。今後、統合していくことにより、正職員の割合を増やしていこうと考えています。

委員：本来は国の管轄ではあると思います。限られた財源を必要なところにどのように振り分けていくのか、今後民営化論議のなかでは避けては通れないことと思います。

委員：計画策定中に考えてもらいたいことがあります。35 頁の地図を見ると、中心部に集中しています。中山間地域では 10 キロ程度離れていたりもします。ニーズのあるところに建てるのは当たり前ですが、同じ税金を払っているものとして、同程度の恩恵、サービスを与えてほしい。そうしなければ、住みたくとも住みづらいと思います。ご考慮頂きたいと思います。

事務局：よくわかります。ただ、どこで折り合いをつけるか、保育養育環境をどうしていくか、費用対効果を含めて考えていかななくてはいけないと思います。

委員：遠くに保育所ができた場合、通うのが困難です。大規模である必要はないかと思います。費用対効果、株式会社の経営ではないところで考えて頂きたいと思います。幼稚園、保育所、教育環境等がないと中山間地域に住民がいなくなると思います。

委員：子ども達に目を向けたときに、子どもの成長に必要な最低限度の子ども集団の確保が、過疎化が進んでいる地域では難しいという問題があります。解決していくには拠点があつての連携だと思います。保育園のことですが、地域・まちづくりの観点で、そういったネットワーク化を考える必要があると思います。

委員：お年寄りの施設関係は点在しています。そういったところと連携をとって、交流を図れればと思います。子どものみの連携ではなくて、地域間での連携をとれればと思います。

委員：保育所整備計画は建物を中心に考えなくてはならないと思います。次世代育成行動計画というものがあります。そのなかで、先ほどの工夫をなせればと思います。税金でする以上、格差をつけない、公立だからできることもたくさんあると思いますので、そこを目指していければと思います。

委員：基本的に統廃合した場合は、どちらか一方の建物を壊して一方を補修して使うのか、それとも両方とも壊した後に建物を新築して使用するのでしょうか。また建て替え中は、子ども達はどこに行くのでしょうか。

兄弟同じところに入れられない等の理由で、待機児童が出ていると思います。子育て支援として保育所の数を増やすのは大事ですが、一番問題なのは働きたい方達の働き先がどのように対応してくれるかだと思います。

事務局：保育園の運営を行いながら統合することになるので、別の地点に建てることになると思います。現状の保育園が、全体的に狭い、駐車場が確保できていないことがあるので、道路のアクセスがよいところが喜ばれるのではないかと考えています。

委員：現在赤坂の保育所を使用していますが、比較的新しく、デイサービスと一緒に交流もあり便利がよいのですが、なくなってしまうのでしょうか。

事務局：赤坂は確かに新しく、デイサービスも一緒に非常によいと思いますが、借地の問題があり、以前は借地代も低かったのですが、現在は相当上がっています。

先ほどもお話がありましたが、必ずしも費用対効果で考えてはいけないとは思いますが、難しいと思います。

委員：夏祭りのとき、デイサービスの方と子ども達との交流があり、子どもにとってもすごくいいことだと思いました。

委員：今の提案はすごく大事なことだと思います。場所の問題等、そういったことを整備して、使いやすくして、子どもにとって意味のある保育所を考えていきたいと思います。子どもと高齢者が交流をもつために、老人ホーム関係との連携や在宅中の方々と一緒に食事をする場を設けるなど、少しの工夫で行っていかれると思います。

委員長：様々な意見が出てきましたが、あとは知恵の問題だと思います。統合の問題も案はありますが、どこに代替地を見つけるかもはっきりとはわかりませんし、何年も前から園舎の老朽化があり、地震がきたらどうするかという問題もあります。方向性を定めて、まずは、決断したことを実行することによって、展開が変わってくると思います。

委員：デザイン重視で、使い勝手の悪いものを建てられても困るので、新しい園舎を建てる場合に、我々の意見を述べさせてもらえる場があると助かります。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。予定として10年間の計画なので、話し合いの場をとれるようでしたら、とっていききたいと思います。その際、委員会の皆様に意見を言って頂ければと思います。

委員長：次回の予定はどのようになっていますか。

・ <今後のスケジュールについて資料に基づいて説明>

委員長：なるべく意見を集約してもらえたらと思います。

事務局：皆様にお願ひがあるのですが、地区説明会の実施の際に、委員の中で参加できる方は参加して頂きたいと思ひます。

委員：地区説明会、保護者説明会もあるのでしょうか。地区も大事だと思いますが、保護者方の生活にかかわることですので大事だと思います。慎重に、誠意をもって行わないといけないと思います。

事務局：保護者説明会もどこかで行いたいと思います。意見の集約を行うためにも、パブリックコメントの前に行いたいと考えています。

委員：保育所が動けば不便になる方も必ずいると思いますので、慎重に対応することが大事だと考えます。

委員：時刻は何時ごろですか。

事務局：夜に行うことになると思います。

委員：地区分けはどのように行うのですか。

事務局：例えば佐野地区や界地区等の分け方を考えています。

委員：実際行った場合、参加者は来るのでしょうか。広報は考えていますか。

事務局：行わないわけにはいかないと考えています。

委員：赤坂のことでいえば、施設がなくなった場合、地主の収入が減少します。関係場所に影響が出てくると思います。

委員長：時代が変わってきたと思います。場所の地区説明会は大事だと思います。

委員：現在保育所のある場所、及び、移るところの町会長や役員には全員出してもらい、話を聞いてもらうことは必要だと思います。

委員：10月の地区説明会はある程度わかっていますか。

事務局：そこまではわかりません。統廃合しますとは伝えます。ただ、どの地区に建てるかについては、発表しようと思えばいくつかの案があるので可能ではありませんが、差し控える予定です。

委員：発表することによって、話がこじれる可能性もありますか。

事務局：はい、あると思います。以前、別件にてそのような話をうかがったこともあります。

委員長：最初の1歩は大事だと思います。10月に行くことは決まっていますが、それまでにいろいろな意見を踏まえて、課題を解決して、周到に準備した上で臨むことが重要だと思います。

委員：建て替えの代替地が決まったら、早めに根回しをしておく必要があると思います。

委員：新しいところには複雑なことがいろいろあると思います。

委員長：前例はいろいろありますから、そこを見習っていきたいと思います。子どもは宝だと思いますから、うまくいくことを願います。

委員：保護者としては子どものためになるならば、納得できると思います。子ども達を8年間保育所に預けていた立場で言えば、具体的に話すのは難しいですが、確実に質が落ちていると感じます。臨時の囑託が増えたことに関係があるとは断定はできませんが、実感しています。

委員：公立保育所の質の問題、実際に保護者間でかなり噂になっています。先ほど話が出た給与の問題も考えると、質が下がっているのに給与が上がることはどうなのかとは感じます。

また、保育サービスの充実とありますが、例えばアレルギーに対応するなど、今後さらに難しい時代になってくると考えています。その辺も含めて、ご検討頂ければと思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。統廃合地区の決定等の情報については、皆様方に随時お伝えして行きたいと思います。

委員長：いろいろなご意見を聞かせて頂きました。基本的な姿勢は21世紀を支える人材を育成していかななくてはいけない、時代のニーズに对应していけないと思います。多少摩擦があったとしても、結果的に統合してよかったと思えるようにしたいと考えます。趣旨説明も大事ですが、人が一番大事だと思います。何かありましたら、また集まって頂くこともあると思います。

本日はありがとうございました。

以上

(閉会)